

## 「人間の安全保障」について考えを深め行動計画を立てよう

- 1 対象：小学校高学年（中学年以上からも可能）
- 2 時数：1～2時間
- 3 目標：展示「人間の安全保障展」を見学して、気になったゾーンのテーマについて考えを深め、自分の行動計画を立てる。
- 4 学習の展開：

**導入** 展示「人間の安全保障展」で強く心に残っているゾーンは何か。世界のあいさつ、貧困ゾーン、保健医療ゾーン、水ゾーン、教育ゾーン、紛争ゾーン、相互依存ゾーン、SDGsゾーン、市民のひろば、から一つ選ぼう。

### 展開1

- ① 同じゾーンを選んだ人とグループを作り、どうしてそのゾーンが気になったのかを話し合う
- ② そのゾーンの展示から学んだことをもとに、自分でできること、自分でやってみたいこと、やるべきこと、他の人に伝えたいこと、知ってほしいことなどの行動計画について話し合おう。

<例>

- ・私は安全な飲み水がない国や地域の子どもの気持ちを考えて、手洗い場に節水のポスターを書こうと思う。
- ・健康でおいしいものを食べることができている毎日を大事にして、食べ残しをしないように家族で話し合います。
- ・子供が武器を持って戦わなくていいように、自分がしっかり勉強して、大きくなったらそういう世界をなくせるように努力したいし、このテーマの本を読もうと思います。
- ・給食の食材がどこの国から来ているか調査をして、昼の給食放送で発表したいと思います。

**展開2** グループで1人、全体にむけて考えた行動計画について話したい人を決めて、発表する。

### まとめ

世界のあいさつ、貧困、保健医療、水、教育、紛争、相互依存、SDGs、市民のキーワードをタイトルにふくめた作文(400～600字)を書き、文集「人間の安全保障への行動計画」としてファイルし、学級文庫に置く。

- 5 評価：気になった展示について意見交換をし、行動計画を立て、「人間の安全保障」について自分の考えを文章で表現することができる。
- ①知識及び技能：興味を持ったゾーンの展示内容で理解したことを整理して話し合うことができる。
  - ②思考力、判断力、表現力等：展示内容から理解したことをもとに、どうしたらよいか行動計画を立て、発表などを通して表現することができる。
  - ③学びに向かう力、人間性等：理解したことを深めるために探求し、行動につなげるための意識を持って自分の考えを深めることができる。